

## 令和7年度大阪府委託訓練事業（離職者等再就職訓練）追加募集に係る 大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

### 1 日時

令和7年5月19日（月曜日） 午前10時15分から午前10時55分まで

### 2 場所

Web会議

### 3 対象事業

離職者等再就職訓練（知識等習得コース）に係る事業者選定

### 4 選定委員

榎 伸浩（大阪府社会保険労務士会）

長町 理恵子（追手門学院大学経済学部）

池内 宏行（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部）

後藤 拓真（近畿職業能力開発大学校）

### 5 審査方法

令和7年度大阪府委託訓練事業（離職者等再就職訓練）企画提案公募要領記載の審査基準に基づき、4名の選定委員会委員が書類審査を行い、令和7年度大阪府委託訓練事業（離職者等再就職訓練）企画提案公募要領の7の(2)審査基準の配点に基づき採点・評価した。

### 6 議事概要

令和7年度に実施する大阪府委託訓練（離職者等再就職訓練）追加募集の実施事業者を選定するため、企画提案公募を実施し、応募のあった事業者の企画提案についてその内容を選定委員会で評議するとともに、得点の高い順に公募科目に応じて選定した。

### 7 選考委員発言等要旨

カリキュラム、就職支援内容の審査にあたっての考え方等について意見があった。

- ・就職支援に関しては、キャリアコンサルティングの実施、職務経歴書・履歴書等の作成指導、求人情報の提供、その他の取組を重視して評価を行った。
- ・訓練修了後のサポート制度、就職支援に係る先端技術の活用等、独自性の高い取組については高く評価した。
- ・記載内容については、概ね具体的な記載がなされていた。
- ・グループワーク等による成果発表は就職支援の観点からも良い取組と感じた。
- ・カリキュラムの作成に関する調書では、最近のトレンドを踏まえて組まれているカリキュラムについては評価した。一方、習熟度に応じたフォローアップにかかる具体的な記載がないもの、求人ニーズで必要と記載された知識であるにもかかわらず、カリキュラムの時間数が短時間であるケースがあった。
- ・求人・求職ニーズについて、公開されている統計データのみの記載だけでなく、事業

者が蓄積したデータもあわせて分析し記載するとともに現場の声を反映することも重要である。

- ・カリキュラム内容がどのように仕上がり像とつながるかを明確にし、カリキュラムの内容によっては、仕上がり像にどのような差が出るのか等、違いや強調したいところも含め、独自性を訴求できればなお良い。